

野生の森からのメッセージ

NPO法人京都土の塾は、京都市から森と人との新たな再生をめざす市民活動を期待されて、京大桂キャンパス近くの市有林 12ヘクタールの管理を任せられ、平成 21 年、「次世代の人間に野生を！」を合言葉に活動をはじめました。

最初の活動は、膨大な量の竹を間伐し、山桜や檜、櫻など自生の木々を甦らすことでした。活動をしながら気づいたことは、森を蘇らせていく活動は私たちの心身にも変化をもたらすということ。森で木々に触れ、虫と同じように樹陰で雨をよけ、鳥や獣の鳴き声や気配の中に身をおいていると、思わず歌いだしていることがありました。日頃は全く動かなかった身のうちに秘めた野生性が磨かれていくのを感じるようになりました。

遠い古代から、人は森に入って祖先の知恵や魂と向き合うひと時を大切にしたといわれます。森のいのちと向き合う時に用いられた“音楽”を、この「野生の森」でも持ちたい！きっとその音楽は、いのちに対する感動をもたらし、人を自然と共生する生き物に導いてくれるに違いない。そういう思いから、この「野生の森」の一角を選び、「響きあういのちの舞台」と名付けました。

演奏するもの、演じるものは、自らの身体と肉声だけを頼りとして、この舞台に立ち、自らのいのちを解き放つのです。そんなときにこそ、光や風、虫や鳥たちと一つになった感動的な舞台が生まれることだと思います。そういう舞台を、みんなで一緒に作り上げていきたいものです。

出演者プロフィール



岳人山 尺八奏者

幼少より父橋本恒山の指導を受け、1977年に高瀬仙山師に師事。1986年、都山流尺八全国コンクールで金賞を受賞。同年文部大臣賞受賞。その後、アメリカ合衆国、大韓民国、中国、ヨーロッパ各地などで演奏を展開。石川さゆりとの共演、胡錦涛中国国家主席の御前演奏、上海万博での演奏やドキュメンタリー映画「カムイと生きる」の音楽の担当等、幅広く活動を展開中である。



岩田英憲

パンの笛（パンフルート）奏者
フルートの勉強のため、ウイーン滞在中、レコードで、ルーマニアの民族楽器（ナイ＝パンフルート）の音色を聴き、魅了される。帰国後、ルーマニアに渡り、奏法を学ぶ。NHK「音楽の広場」、「人間マップ」等に出演。NHK「新日本探訪」のテーマ曲演奏。現在、植物の代弁者（風にゆれる草花のうた）として活躍。

世界遺産・宮島観光大使



栗山かおり

朗読家 ボイストレーナー
声楽を学んだ後、「美しい日本語」に魅かれ朗読の世界に入る。京都、大阪、滋賀等の各地で朗読講座を指導。
朗読ライブ「HANASHIYA」を主宰。
2012年2月には、京都府立文化芸術会館での「Kyoto演劇フェスティバル」に参加。
60人による群読劇、宮沢賢治の「なめとこ山の熊」を上演し、好評を博す。



牧野元美 ソプラノ

京都市出身。京都市立音楽高等学校（現京都堀川音楽高等学校）声楽専攻を経て、東京藝術大学音楽学部声楽科ソプラノ専攻を卒業。現在、東京二期会オペラ研修所に在籍。
第90回二期会オペラ研修所コンサートに出演予定。これまでに声楽を寺谷千枝子、小木谷好美の各氏に師事。



土野研治

バリトン 音楽療法士
東京生まれ。国立音楽大学声楽科卒業。NHKおよび日本演奏連盟の新人オーディションに合格。清水寺円通殿、スウェーデンでリサイタルを行う。大学卒業後に特別支援教育に携わり音楽療法を実践する。日本音楽療法学会認定音楽療法士。音楽教育振興賞、下總院一賞を受賞。著書に「心ひらくピアノ」「声・身体・コミュニケーション」（春秋社）他がある。現在、日本大学芸術学部教授。

日本音楽療法学会理事。